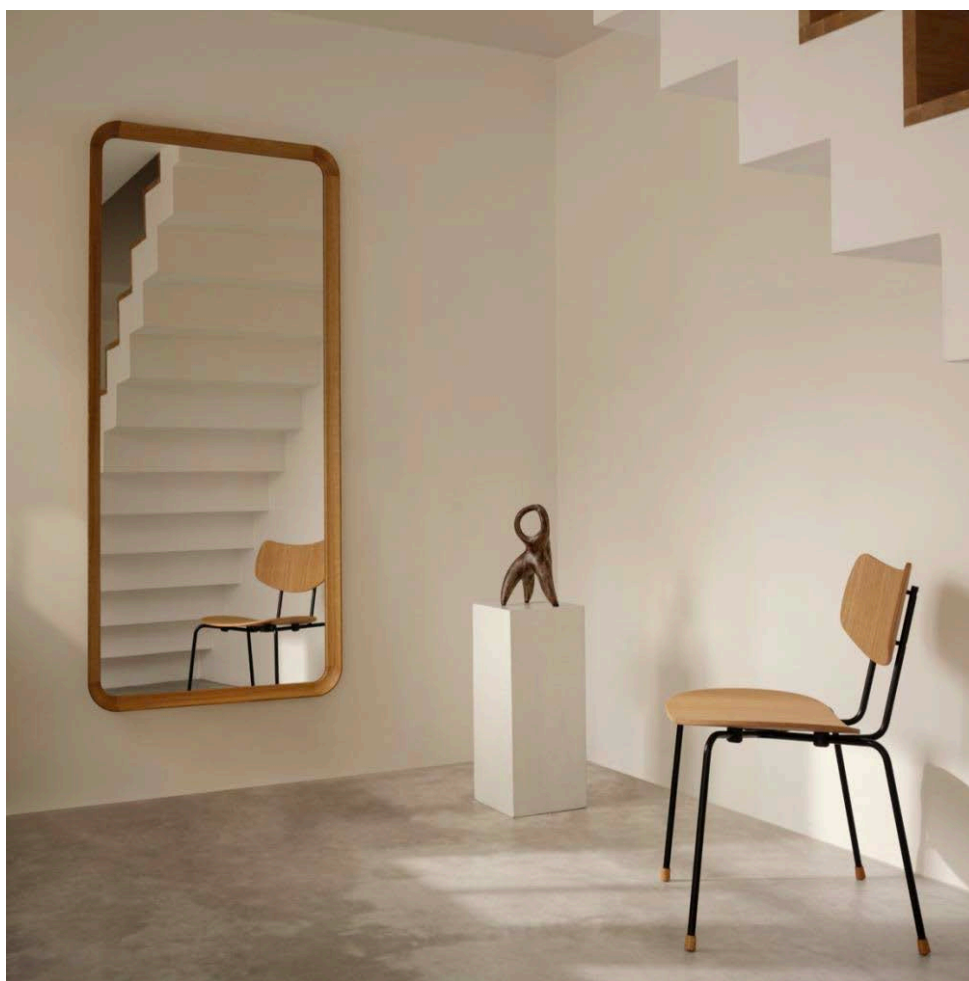


BY APPOINTMENT TO  
THE ROYAL DANISH COURT

CARL HANSEN &amp; SØN

カール・ハンセン&amp;サン 新製品情報

## ヴィルヘルム・ラウリッツェンの「VLA62 Radio Houseミラー」が新登場 2024年夏 発売スタート



1908年創業 デンマーク王室御用達家具メーカー CARL HANSEN & SØN（カール・ハンセン&サン）は、2024年夏、VLA62 Radio House Mirror（ラジオハウスミラー）の発売をスタートします。

デンマークを代表する建築家であり、デンマークモダニズムの父とも呼ばれる建築家ヴィルヘルム・ラウリッツェン(1894-1984)は、本作を、自身が設計した旧ラジオ局「Radiohuset（ラジオハウス）」（1945年コペンハーゲンに完成）の王族ボックス席に隣接する王族控室のためにデザインしました。部屋全体が芸術作品と言える空間で、家具はすべてラウリッツェンが特別にデザインしたものです。今回、カール・ハンセン&サンは、Vilhelm Lauritzen Architectsとの協業により、このうちミラーを製品化し発売します。

Radio Houseミラーは、個人の邸宅をはじめ、劇場、ホテル、店舗、小売スペースなどの公共の場でも、幅広くお使いいただけます。

## カール・ハンセン&サンのCEOクヌード・エリック・ハンセンのコメント

本作は、ヴィルヘルム・ラウリッツェンらしさとラジオハウスらしさが一目でわかるものであり、オーガニックな無垢のオーク材が鏡面を美しく縁取ります。特徴あるフレームは、木目が途切れることのないよう、最高の精度で組み立てられたのち、表面は手作業で丁寧に研磨され、完璧な仕上げとなっています。

## アン・モラー・ソレンセン(ヴィルヘルム・ラウリッツェン・アーキテクト)のコメント

単なる鏡ではなく、それ自体が一つの家具です。鏡面を美しく縁取るオーガニックな木材は、バロック様式を思わせます。素材にはオーク材を採用し、コンテンポラリーなスカンジナビアデザインの外観となるようにしました。

## ラジオハウスについて

ラジオが最先端技術であった時代、デンマーク国営放送局のためにデザインされたラジオハウスは、ラウリッツェンが手掛けた建築物の代表作の一つに数えられています。今日、デンマーク王立音楽アカデミーの本部が置かれているこの建物は、照明や家具に始まり手すりやドアハンドルまで、ラウリッツェンがすべての調度品や備品をデザインし、素材を熟知しディテールに凝ったラウリッツェンの才能が随所にうかがえる、国際的に有名な場所となっています。ラウリッツェンがオーガニックな形状や素材の名手であったことは、すべてが一貫した有機的なコンセプトでまとめられているラジオハウスの家具からも明らかです。

## 製品情報

製品名	VLA62 ラジオハウスミラー
サイズ (cm)	高さ175、奥行き5.8、幅80
参考小売価格	245.300円～(税込)
素材	FSC認証オーク材 (FSC® C135991) ミラー
発売日	2024年9月1日 (日)

## IMAGES



高解像度画像はこちらからダウンロードいただけます。

<https://carlhansen.presscloud.com/digitalshowroom/#/selection/181419614259136>

## Vilhelm Lauritzen（ヴィルヘルム・ラウリッツェン）プロフィール / 1894-1984



ヴィルヘルム・テオドア・ラウリッツェンは、デンマークを代表する建築家であり、デンマークモダニズムの父とも呼ばれています。今日、彼が手がけた多くのプロジェクトは、当時としては画期的な、形態に機能を従わせた建築の好例として残されています。彼はそのキャリアを通じて、建築は一部の特権階級のためだけでなく、すべての人のために役立つ応用芸術であるべきだと主張しました。ラウリッツェンの代表的な作品には、現在ヴィルヘルム・ラウリッツェン・ターミナルとして知られるコペンハーゲン空港の最初のターミナル（1939年）、フレデリクスベアにある国営放送局の建物ラジオハウス（Radiohuset、1945年）、コペンハーゲンのコンサートホールVega（1956年）、ワシントンDCのデンマーク大使館（1960年）などがあります。

ヴィルヘルム・ラウリッツェンは、1894年9月10日、デンマークのスレイーズという町で生まれました。ソールにある高校（Sorø Akademi）を1912年に、コペンハーゲンの王立芸術アカデミーの建築学部を1921年に卒業し、その翌年 Tegnestuen Vilhelm Lauritzen（今日の Vilhelm Lauritzen Architects）を設立しました。また、研究のためスペインとギリシャを訪れ、1922年に建築家フリッツ・シュレーゲルと共同で優勝した設計コンペ作品であり初の大作であるデパート「Daells Varehus」をはじめ、ラウリッツェンの後の作品に大きな影響を与えました。

ラウリッツェンのデザインは、空間や形状は何世代も持ちこたえるべきものだ、という明確な思想を表現しています。同時代の建築家と比較して、ラウリッツェンの建築がいかに画期的であったかが分かります。建築において長年焦点となっていたのは、建築物の形状や装飾です。しかし、ヴィルヘルム・ラウリッツェンは、自由な発想で機能性を重視したアプローチをしました。そこから、一見ただけでは彼の才能を見落してしまうような、シンプルかつ機能性に優れた作品が生み出されました。

**プロフィールの詳細は下記よりご覧いただけます。**

[https://presscloud.com/file/84/846383894025678/JP\\_Vilhelm\\_Lauritzen\\_designerprofil\\_VLA.pdf](https://presscloud.com/file/84/846383894025678/JP_Vilhelm_Lauritzen_designerprofil_VLA.pdf)

---

**プレス関係のお問合せは下記までお願いいたします。**

**カール・ハンセン&サン ジャパン株式会社**

ブランド コミュニケーション マネージャー 阿部理歩 AYAHO ABE MAIL : ayab@carlhansen.jp

**カール・ハンセン&サン ジャパン PR SUPPORT**

株式会社ハウ MAIL : chs\_pr@how-pr.co.jp TEL : 03-5414-6405

**メディア掲載時のクレジットは下記記載をお願いいたします。**

カール・ハンセン&サン 東京本店/カール・ハンセン&サン大阪 <https://www.carlhansen.com>  
もしくは

カール・ハンセン&サン 東京本店 TEL : 03-5413-5421